

BRT導入促進に向けて

BRT(Bus Rapid Transit)は、連節バス、PTPS(公共車両優先システム)、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムである。

BRTの特色

車両・設備の高度化

車両・設備の高度化を図り、利便性・快適性を向上する。

連節ノンステップバス(大容量、バリアフリー、快適性)

バス停のハイグレード化(雨天時の快適性、円滑な乗降)

バスロケーションシステム(バス待ち時のイライラ解消)等

運行の効率化

運行の効率化を図り、最適な交通ネットワークを構築する。

急行運行

バス路線の再編(幹線・支線)等

定時性・速達性の確保

走行環境の改善を図り、定時性・速達性を確保する。

専用走行路(廃線敷の活用等)

専用レーン、優先レーン(バスレーンのカラー塗装)

PTPS等による信号制御
(Public Transportation Priority Systems: 公共車両優先システム)

BRTのメリット

効率的な人員輸送

大容量の連節バスの導入により、通勤・通学時間帯の大量の旅客の効率的な輸送を実現。

魅力あるネットワークを形成

幹線にBRTを導入して魅力あるネットワークを形成することにより、都市部のバスネットワークを改善。

大規模な新規需要への対応

大規模な団地やビジネス地区等の新規輸送需要にも対応。

鉄軌道の廃線敷の有効活用

鉄軌道の廃線敷を有効に活用することにより、バス専用道によるBRTを実現。

低廉な導入コスト

鉄軌道と比較して、低廉なコストで導入可能。



地域の実態に応じた交通システムの整備により、地域公共交通の利便性の向上、利用環境の改善が実現。

定時性・速達性を確保したバス交通システム(BRT)

1) 都市内交通型BRT

- ・基幹交通軸の形成、鉄道網の補完等
- 集約型都市構造の形成

【事例】名古屋市交通局、名鉄バス(名古屋市)



2) 都市間交通型BRT

- ・鉄道廃線敷の活用等
- 鉄道廃止に伴う代替機能確保

【事例】日立鉄道交通サービス(日立市)



都市の公共交通として、BRTは重要な役割を担うことが期待される

- ・ 定時性・速達性に優れた交通システム
- ・ LRTや鉄道等と比較して柔軟性に富んだ交通システム

等

... しかしながら ...

全国での事例も少なく、様々な課題があり、各地域で導入が進んでいない

課題

1. 連節バスの導入(大量輸送手段の確保)
2. バスの走行環境の改善
3. バス路線網の再編(運行の効率化)
4. 幹線と支線との乗換拠点等の整備
5. 利用者等に対するBRTへの理解促進 など



技術的検討を行い、BRT導入を促進するガイドラインを作成する必要がある

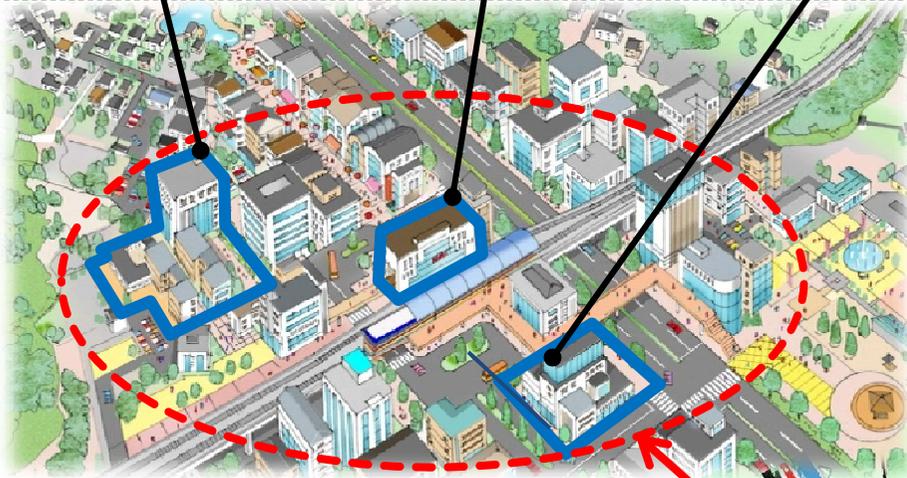
人口の減少、高齢者の急増に対応したまちづくりの方向性

生活サービス機能の計画的配置

低未利用地の活用

既存ストックの活用

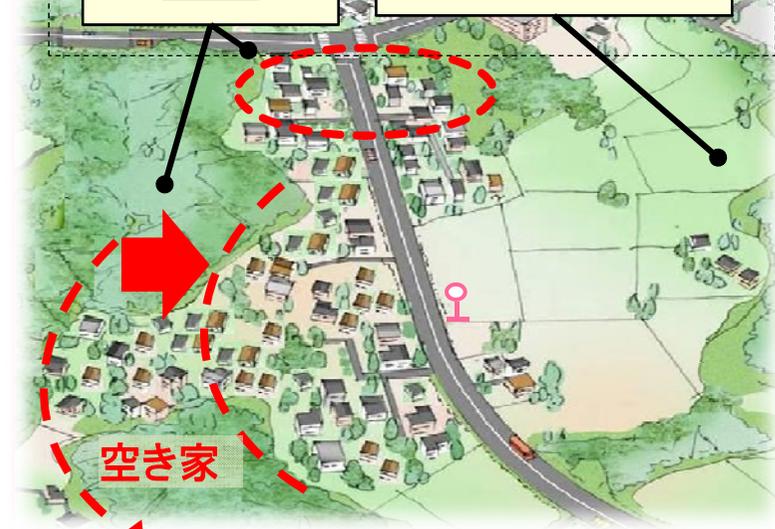
公的不動産の活用



人口密度の維持

居住の誘導

郊外における緑地の整備



空き家

公共交通の充実

